

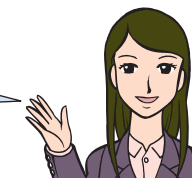
あなたは、**学業指導**を知っていますか！

学業指導は、学習指導のねらいを達成するための基盤をつくっていくことです。

平成21年1月
栃木県教育委員会



“集団の中で学ぶ”という学校教育の特質を生かして、子どもたち一人一人を成長させるという視点が大切です。
学業指導とは、それぞれの学級を「学びに向かう集団」に高めながら、児童生徒一人一人が自らの力で様々な不適応を解消し意欲的に学習活動に取り組めるように指導・援助していくことにほかなりません。



I 学びに向かう集団づくりのために

どのような集団に属しているかで、子どもの成長は大きく異なります。
一人一人の向上のためには、個への指導・援助とともに、属する学級を、互いに高め合うことができる「学びに向かう集団」につくり上げていくことが重要です。

そのため、以下の三つの視点に留意した学級づくりに取り組みましょう。

1 帰属意識の高い学級づくり

- 一人一人が周囲から認められていると感じる活動場面を工夫する。
- 協力して一つのことに取り組めるように工夫する。
- できるだけ子どもたちの発想に基づく活動を取り入れる。
- 心からの感動体験を意図的に創出する。

2 規範意識の高い学級づくり

- 学校・学級で守るべきルールを明確にする。
- 集団にはルールが不可欠であることを体験をととして学ばせる。
- 子どもたちが自ら約束を決め、協力して実行できるように工夫する。

3 互いに高め合える学級づくり

- 全員が参加して学級の目標を設定する。
- 学級のために自分は何ができるか、自ら考えるように指導を工夫する。
- 当番や係活動の活性化を図る。
- 互いに夢や目標を語り合う場や機会を設定する。

互いの関連を
図りながら、
指導を充実させて
いくことが
大切です。

II 子どもが意欲的に取り組む授業づくりのために

教師にとって大切なことは、何といても日々の授業の改善です。
授業をととして、教科のねらいの定着を図るためには、児童生徒一人一人が学習活動に自主的かつ意欲的に取り組めるように、指導・援助する必要があります。

そのために、以下の三つの視点に留意した授業を実践していきましょう。

1 自信をもたせる授業

- 認める・ほめる・励ます機会を意図的に設定する。
- 最後までやり遂げた結果として成功体験が積めるように指導を工夫する。
- 時には思いどおりにならない体験をさせる。
- 自分で選択・決定する場面を発達段階に応じて設定する。

2 コミュニケーション能力をはぐくむ授業

- 相手の話を聞いたり自分の言葉で伝えたりする活動を取り入れる。
- 協力し合う場面を設定する。
- 子ども同士が教え合う活動を意図的に設定する。
- 自己理解、他者理解を促すために、自己評価・他者評価を活用する。

3 一人一人の実態に配慮した授業

- 毎日、授業や家庭生活を振り返る場や時間を設ける。
- 教育相談を意図的・継続的に実施する。
- 学習不適応の解消に向けた組織的な指導・援助体制を整える。

各学校において、あらゆる教育活動をととして学業指導の充実に取り組みましょう

学業指導の充実に向けた取組を振り返ってみましょう

このチェックシートには、本県の全ての教職員に、自分の学年や学級で必ず取り組んでほしい内容を項目として示しました。

学びに向かう集団づくり

1 帰属意識の高い学級づくり

- ☐ 子どもたちが協力して取り組めるように活動を工夫している。
- ☐ 一人一人が、個性や能力に応じた役割を担えるように工夫している。
- ☐ 行事等に企画段階から子どもたちがかわれるように工夫している。
- ☐ 他の学級、学年など、いろいろな集団との交流の場を設定している。
- ☐ 子どもたちと感動を共有できるように心がけている。

2 規範意識の高い学級づくり

- ☐ 学年、学級で守るべきルールを具体的に定めている。
- ☐ 教職員間の共通理解のもと、ぶれない指導を実践している。
- ☐ 子どもたち自身に学級の約束を決めさせている。
- ☐ 時と場に応じた行動がとれるように指導を工夫している。
- ☐ 日々の生活や行動を謙虚に振り返る時間や場を設けている。

3 互いに高め合える学級づくり

- ☐ 学級の目標を子どもたちと一緒につくっている。
- ☐ 将来どんな生き方をしたいかを互いに話し合う機会を設けている。
- ☐ 競い合う場面や助け合う場面を意図的に設定している。
- ☐ 当番活動や係活動を活用した学級経営をしている。

子どもが意欲的に取り組む授業づくり

1 自信をもたせる授業

- ☐ 一人一人が活躍できる場を意図的に設けている。
- ☐ 子どものよいところを認めたり、ほめたり、励ましたりしている。
- ☐ 一人一人の実態に応じ、指導計画を明確にしている。
- ☐ 児童生徒が自ら選択できるように、多様な学習方法を用意している。

2 コミュニケーション能力をはぐくむ授業

- ☐ 友人の発表をしっかりと聞けるように指導を工夫している。
- ☐ 自分の考えをまとめ、発表できるように指導を工夫している。
- ☐ 考える、互いに教え合う、指導する場面をバランスよく設定している。
- ☐ 小集団活動を取り入れ、子ども同士のコミュニケーションを促している。
- ☐ 自己評価、他者評価を生かした授業を実践している。

3 一人一人の実態に配慮した授業

- ☐ 日記、作文などをとおして、自分の心を表現する指導を行っている。
- ☐ 実態調査、教育相談などをとおして、学習不適應の把握に努めている。
- ☐ 学習不適應の解決に、教職員が協力して組織的に取り組んでいる。